

第 50 回 東京音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブル 特別インタビューシリーズ 最終回

インスペクター 西翔さんに訊く
(サクソフォーン 4 年)

第 50 回定期演奏会の士気を高め、運営を仕切るキーパーソンのインスペクターは、大学 4 年の西翔さん。2 年生から学年のリーダーとしてシンフォニック ウインド アンサンブルを支えてきました。今年はその集大成として、50 回の伝統を継承する大役を務めました。



東京音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブルでは、1 年生の秋ごろにインスペクターをやらないかと先輩から言われ、お引き受けしました。シンフォニック ウインド アンサンブルは 1～3 年生の必修授業として管打楽器の学生全員が参加します。ソロに力を入れたい人が多い中、必ずしもみんなが進んでやる気があるわけではないだろうと考えていました。部活のようなノリにはいけない、授業としての体を成しながらみんなのモチベーションをいかに高めて盛り上げていくかを考えつづけました。そこで思ったのは、楽器の演奏がうまくないとみんながついてこないだろうということ。サクソフォーンの中では絶対に 1 番でいようとまず自分に喝を入れました。インスペクターをお引き受けして、みんなに見られているからしっかりしなきゃと意識が大きく変わりました。演奏面はコンサートミストレスの高松さんに任せて、運営・士気を高めるのはサブインスペクター 3 名と自分。5 人で力を合わせて授業の後、頻繁にミーティングをして意見交換をしました。

3 年生の時に、先輩方の動きを見て、来年はいよいよ自分たちの番、盛り上げていこうと意気込んでいました。今年は第 50 回目の定期演奏会ということで、何より大事にしたのはシンフォニック ウインド アンサンブルの

長い伝統をくずしてはならないということ。東京音楽大学は、新キャンパスも開校してどんどん新しくなっているんですが、伝統をしっかり継承しながらアップデートしていくのが大切だと思います。

僕が石川県的高校から上京して大学ではじめてシンフォニック ウインド アンサンブルを聴いた時は、人数の多さと演奏の迫力に圧倒されていました。まさか4年後に自分がこの大舞台の中心に立つとは夢にも思いませんでした。50回目という節目に加えて、汐澤先生と津堅先生が指揮、外囀先生がユーフォニアム演奏。不安よりも楽しみ、光栄という気持ちの方が大きかったです。客席をいっぱいにしたかったので、本番の数日前にチケットが完売したと知った時は、うおーと、みんなのやる気がさらに高まりました。もうやるしかない、大成功しかありえないでしょう。

本番の10日ほど前から強化週間に突入しますが、毎日夜遅くまで練習が続くので疲れや体調不良が出てくる頃でした。インスペクターの僕が沈んでしまったらみんなも引っ張られてしまうと思って、出席確認の時にはとにかく元気よく「今日もしっかりとがんばりましょう」と明るく大きな声で声かけました。僕は2日目のアンコールでソロ演奏をするのですが、アンコール曲なのでそれほど長い練習時間がとれなくて不安でした。でも、みんなの前では弱音は絶対に吐かないと決めて、夏の定期演奏会はこれで最後だぞと心を鬼にしました。

千葉の特別演奏会では、開場前に中高生の長蛇の列を見てうれしかった。失敗なく終わってほっとしました。2日目の東京芸術劇場では、アドレナリンが大量に分泌されたのか、終わってみるとあまり覚えていないんです。アンコールの時は、疲れていたはずなのに、周りの団員みんながどんどん元気になっていく感じがしました。1曲1曲どんどん終わっていくという寂しさがある中、もっているものをすべて出し切るんだという気持ちでいたと思います。演奏しながら、1曲ごとに4年間のできごとが走馬灯のように脳裏によみがえってきていました。数日後に別の演奏会でそのホールを訪れた時に、本当にこんなところで演奏したのか、しばらくはふわふわしたような気持ちでした。

満員御礼大成功で終わって、最高に幸せの瞬間でした。がんばったらがんばった分だけ返ってくる重みが違うんだと思いました。がんばってよかった。この仲間たちでやれて本当によかった！と思います。

10月21日に、めぐろパーシモンホールでこのメンバーで特別演奏会をします。ぜひ聴きに來てください。

【10月21日 東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス開校記念 シンフォニック ウインド アンサンブル 特別演奏会】 https://www.tokyo-ondai.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2019/07/191021_brass.pdf

[▶シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会のダイジェストムービーはこちら◀](#)

[第1回目の汐澤安彦名誉教授のインタビュー記事はこちら](#)

[第2回目の津堅直弘教授のインタビュー記事はこちら](#)

[第3回目の外囀祥一郎教授のインタビュー記事はこちら](#)

[第4回目の高松真紀さん（コンサートミストレス）のインタビュー記事はこちら](#)

（広報課）

